225 長崎郵趣

2024. 1. 19

新着郵便で世界を歩く　和田　進

新着郵便で世界を歩く

和田　進

令和が始まって６度目のお正月となりましたが，今年も楽しい１年になってほしいですね。さて，今回は去る９月から１２月に入手したカバーを使って，昨年末の世界情勢を追いかけます。

＜９月＞ドイツからは NATO 関連切手が登場＆アメリカがユダヤの祭りを記念する切手を発売

５日，ドイツ郵政は「NATO による平和７５周年」と題した切手を発行しました。ロシアのウクライナ侵攻を意識した切手であることは明らかですが，特印には，進むべき未来を指し示してくれるコンパスが描かれていますね。ドイツは全ての記念切手にバーコードを印刷しており，特印が青色なのも特徴的です。

１９日にはアメリカ郵政が，ユダヤの祭り「ハヌカ」を描く切手を出しました。未だにイスラエルは　パレスチナへの非人道的な行為を続けていますが，アメリカはユダヤロビーが強い国ですのでこういう　切手もアリということなのでしょうか。切手にも特印にも，「ハヌキア」という燭台が描かれています。

・・・あ，ドイツ切手カバーの横にユダヤを並べちゃいましたね。ヒトラーさん，すみません✡✡✡✡✡

（表紙　上）特印はボン郵便局。

（表紙　下）右側に有料のカラー版機械特印，左側に通常版の特印が押されている。押印はワシントン DC 郵便局。

＜１０月＞ブルンジ郵政が UPU1５０年切手を発行＆オーストリアが変わり種のビール切手を発売

９日，アフリカのブルンジでは，日本でも発行された「万国郵便連合（UPU）発足１５０年記念切手」が発売されました。日本と違い大半の国では，この UPU１５０年記念公式ロゴをそのまま切手図案に使っているようです。あ，特印が引っくり返っているのは，アフリカ・クオリティということでご勘弁願います・・・。

切手にも特印にも，UPUの公式ロゴを配す。切手額面は２３５０ブルンジフラン。

１０日にはオーストリア郵政から，「ビールこそ全て！」と題した切手が発売されています。**拡大画像のように，かなり厚手の紙に印刷されていますが，ビールを置くコースターを再現したとのことです。**

ドイツ語を喋るイタリア人と称されるオーストリア人にも，ビールは欠かせないということでしょうか。

＜１１月＞ウクライナ郵政が戦争関連切手を発売＆北京政府は来年の年賀用干支切手を発行

１５日，ウクライナ郵政は「ラジオ・ウクライナ」放送開始１００年記念切手を出しています。これは単なる周年記念切手ではなく，ロシアによる攻撃で停電となってしまっても電気不要のラジオ受信機によってウクライナの人々が情報を得られており，勇気を与えられてもいるということを記念した戦争関連切手です。「ラジオ・ウクライナ」では，単にニュースだけでなく，人々を励ますためにウクライナの音楽や文化に関する番組も放送されているとのことであり，今でも国内外，そして占領地にいるウクライナの人々に様々なコンテンツを提供しています。**特印にはラジオ放送で使用するマイクが描かれている。**

２２日には，北京政府が来年の年賀用に蛇の切手を発行しました。赤色の肌をした蛇に，美しい模様が描かれています。大陸でよく見られる，伝統的な色使いですね。**特印には伝統的な紐飾りが描かれている。**

＜１２月＞ベトナム及び韓国からも新年用干支切手が登場

最近では欧米でも干支を描いた切手が発行されていますが，日本の年賀切手発行に遅れること約１か月，例年通りアジア文化圏でも巳年切手が発売されました。

１日にはベトナム（特印はサイゴン郵便局）から，２日には韓国（特印は京畿道にある華城郵便局）から，蛇を描いた切手が発行されています。吉祥の象徴とされる白蛇を描いた切手が見当たらないのも興味深いですし，右側の韓国の蛇切手は肌が青色であることもあって，何だか芋虫のように見えてきますね(笑)